

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
コミュニケーションと自己発見Ⅱ	共通	1年生・後期	2単位	必修	担任
履修の前提条件	積極的に課題に取り組み、他者と協力できること。				
授業概要 (Course Outline)					
仲間とともに学園祭でのイベント事業を成し遂げることを中心に授業は進んでいきます。グループメンバーで協力して、話し合い・作業すること求められますので、無断欠席やサボタージュ、他者依存は、本授業での趣旨から逸脱する事態を引き起こします。「チームではたらく力」を実践的に身につけるためにも、積極的にグループでの活動に関わるようにしましょう。それがあなた自身の力と自信、そしてキャリアになります。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				○
	リーダーシップ Leadership				○
	倫理観 Ethical Sense				
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
小人数クラスの中でコミュニケーションを積極的に行うことにより、大学生活を成功に導くための、仲間づくりと教員と関係を積極的に築き上げていく力と態度を育てる。また、イベント計画、その実践と反省を通じて、他者と協力して事業を成功に導くことの大切さに気づき、「チームではたらく力」を育む。さらには、小人数クラスの中での相互協力と高め合いを通して、「聞く」、「読む」、「書く」、「話す(発表する)」という、大学生活において最も基本的な技能(技術&能力)を身に付ける。					
事前学習の内容	与えられた課題(ミニレポートや作業等)に取り組み授業時に提出する。				
事後学習の内容	授業での活動や内容を振り返り、与えられた課題(ミニレポートや作業等)に取り組む。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
授業毎の内容に関して、レポート作成し提出する。 個人・集団(グループ)での調査学習、グループワークの場でグループディスカッションやディベートなどを行う。 後期は前期で企画したイベントの実践の場で、体験を通じて問題の解決を行う。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
担任教員の研究室を訪ねて下さい。 研究室の場所、オフィスアワーの時間帯は授業開始時にプリントにて配布します。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 大学基礎総合Ⅰ(選択授業)を受講し、日本漢字能力検定協会の実施する日本漢字能力検定、文章読解・作成能力検定の3級以上を受験すること。2級以上の合格は大学基礎総合の成績評価の対象となります。 試験日、会場(受験教室、本学にて受験します)、詳細は後日連絡します。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、授業内で指定された期日までに各担任へ提出すること。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業ガイダンス / イベント事業の企画を練り上げる(1):企画書の作成		
第2回	イベント事業の企画を練り上げる(2): 報告書を見据えた準備をしよう。		
第3回	仲間とイベントの計画・準備をしよう(1) 作業		
第4回	仲間とイベントの計画・準備をしよう(1) 報告		
第5回	仲間とイベントの計画・準備をしよう(1) 作業		
第6回	仲間とイベントの計画・準備をしよう(1) 報告		
紫苑祭	仲間とイベントの計画・準備をしよう(5) 直前準備		
紫苑祭	イベント実践～学園祭(紫苑祭)当日		
第7回	イベント報告準備①(報告書作成)		
第8回	イベント報告準備②(提出)		
第9回	他大学の学園祭視察訪問の報告(発表会)		
第10回	イベント報告準備③(発表用PowerPointの作成・発表練習)		
第11回	大学での学びの方向を決める(基礎ゼミ・基礎演習説明会)		
第12回	学園祭イベント報告会①		
第13回	「働く」ことの意味とキャリア開発(2)※2コマ分		
第14回	学園祭イベント報告会②		
第15回	学園祭イベント報告会③		
第16回	一年を振り返って(総括)		
教科書 (Textbooks)			
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code
	講義スライド 配布テキスト	担当教員	
参考文献 (Reference Books)			
	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher ISBNコード ISBN Code
	大学学びのことはじめ	佐藤智明ほか 編	ナカニシヤ出版 978-4-7795-0227-9C0037
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価の方法:授業での活動状況、提出レポート、発表等の成績により総合的に評価する。 ・成績評価の基準 :①集団の中で他者と協力・協調できているか、②責任もった行動がとれているか、③提出物や発表(プレゼンテーション)で大学生としての自己表現ができているか、など。 ・通常の講義時間外にも参加、または活動しなければならない。(第7回、第8回、第15回) 			